

第一新聞

秋の学びのススメ

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001

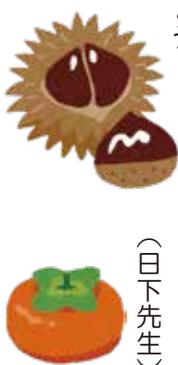
第151号



ゼミ/中学部だより

秋は、学びを深めるのに絶好の季節です。特に11月は、自然が見せる色彩の変化とともに、塾生のみならず、この時期の象徴とも言える「もみじ」には、ただ美しいだけでなく、興味深い特性があります。もみじの葉が赤く変わるのは、寒い冬に向けて光合成を効率よく行うため、葉緑素が分解され、赤いアントシアニンが現れるからです。この自然のリズムは、私たちにも学びのリズムを整えるヒントを与えてくれます。

さて、学習に最適なこの季節、11月は特に集中力を高めやすいと言われています。日照時間が短くなることで、体内時計がリセットされ、睡眠の質が向上するためです。質の良い睡眠は記憶の定着を助け、効率的な学習を促進します。また、月末には中学校の期末テストが控えています。テスト対策としては、まず「計画的に学習する」ことが重要です。一日の学習時間を決め、科目ごとに均等に割り当てることで、全体のバランスを保ちつつ、効果的に学習を進めることができます。さらに、もみじのように季節の変化に合わせて、学習スタイルも少し変えてみるのも一つの方法です。たとえば、読書や散歩を取り入れることで新たな発見があるかもしれません。最後に、どんなに勉強が大変でも、周囲の自然の美しさに目を向けることで、心が和み、ストレスが軽減されるでしょう。秋の深まりとともに、学びの時間を大切にしましょう。



(日下先生)

中学3年生の皆さん、今度は1月中下旬にある、徳島県第2回基礎学力テストへの挑戦が少しずつ迫っています。高校受験に挑む決心をした皆さん、今までの努力と準備を思い出してください。皆さんが夜遅くまで勉強し、弱点箇所を繰り返し確認し、自分自身と向き合ってきた日々は決して無駄ではありません。

この基礎学力テストで、皆さんはこれまでの頑張りを確認することとなります。その中で大切なのは、自分を信じることです。緊張や不安は当然の感情です。しかし、それを乗り越える力も皆さんの中には必ずあります。テスト当日は、まず深呼吸をして、心を落ち着かせてください。問題を一つずつ丁寧に解き、焦らず自分のペースで進んでいきましょう。わからない問題があっても、自分の知識と経験を信じて対応してください。

また、何よりも最後まで諦めないでください。テストは終わる瞬間まで何が起るかわかりません。親や先生、友達の応援も忘れずに感じてください。皆さんを支えてくれる人々がいるからこそ、今の自分があることを思い出し、その感謝の気持ちを持って挑んでください。

そして、何よりも重要なのは、この経験を通じて自分自身を成長させることです。テストの結果だけにこだわらず、自分の学びを深める機会と捉えてください。皆さんの未来は無数の可能性に満ちています。

一日の勉強が終わった後、しっかりと休憩を取り、リフレッシュすることも忘れずに。心身の健康が保たれてこそ、最大のパフォーマンスが発揮できます。テストまで

での期間、食事や睡眠もバランスよく取り、睡眠も最低限は確保してください。

さらに、テスト前日には、必要な持ち物をしっかりと準備し、忘れ物がないように確認をしましょう。万全の状態です。結果に大きく影響を与えます。

過去のテスト結果にとらわれず、今この瞬間に集中してください。過去の失敗や成功も全てが学びの一部です。皆さんは確実に成長していきなす。その自信を持って、新たな挑戦に向かってください。

結果がどうであれ、この経験が皆さんの未来にとって大きな糧となることを信じていきましょう。

試験勉強を続ける中で感じる疲れや不安、それらは皆さんが一生懸命に取り組んでいる証です。その努力は決して無駄にはなりません。自分を信じ、最後まで全力を尽くしてください。

そして、テストが終わった後も、その経験を次のステップに生かしてください。学びのプロセスはこれで終わりではなく、皆さんの未来に向けて一つのステップです。挑戦し続けることで、必ずや自分の目指す道にたどり着くことができます。

心から応援しています。全力を尽くして、前向きな気持ちで、後悔のないように頑張ってください！
一杯の君になれ！

(工藤先生)



大学受験のことを考える

いきなりですが、皆さんの中に東大・京大のような難関大学や医学部を目指している人はいますか？もしかしらば、そんな未来のことなんか分らないという人もいるかもしれません。しかし、そんなに悠長に構えていていいのでしょうか。実は「徳島に既に大学受験において圧倒的な不利な状況にあるということを知っていますか？」

たとえば2024年には149名の東大合格者を輩出した、開成の授業時間は一般的な公立中学校より600時間以上も多いのですが、彼らは開成中学に入るまでに、すごい量の受験勉強をしています。つまり熾烈な中学受験を乗り越えたトップ層が、さらに600時間も多くの授業を受けているというわけです。

皆さんは、のんびりしていられますか？もし、難関大に合格したいと思うなら今すぐに動き出す必要があります。まず行うべきことは「情報」を集めることです。普段は校内での順位しか気にしていないのではありませんか？けれども定期テストで450点以上取る実力があっても、全国規模の模試では全く歯が立たない場合も多いです。大学受験のライバルは全国にいます。ならば、全国での自分の位置を知る必要があります。そのためにも、日々の統一テストのような全国模試を定期的に受けることが不可欠です。

☆今回は2部制です。後編は次回掲載します。お楽しみに！
(宇都宮先生)



程よい危機感と程よい余裕を

徳島県内の中学受験まで、あと残り二か月余りとなりまして。受験を決意してから今日まで、どのような心持ちで勉強に励んできたでしょうか。きっと人生で最も勉強に頑張り続けている一年間であると思います。残りの時間を考えると、ここからはラストスパートと言える期間となります。今までと同じように、そして今まで以上にさらなる努力を積み重ねてほしいところです。夏休み頃から小六の皆さんの質問に対応する時間が増えてきましたが、ここ最近本当にたくさん生徒たちがテキストやノートを抱えて質問にやってきました。しかも今までは「この問題が分かりません」というだけの質問だったのが、「自分はこう思うけれど、この考え方はどこが間違っているのですか」「〇〇のために、このように勉強すれば良いですか」というような、もう一ランク上の質問となってきました。ただ聞くだけの受動的な姿勢から、自分の考えも伝える能動的な姿勢に変わってきており、非常に良い傾向です。この姿勢で最後まで貫いてほしいと思います。

さて何度も言いますが、残り二か月余りです。二か月という期間の捉え方は人それぞれですね。「もう一か月しかない！」「と危機感を持って勉強により一層はげむ人、「まだ二か月もある！」とリラックスして勉強する人、焦る気持ちばかりが先行して全然勉強に手がつかない人、余裕ばかりかまして何も危機感を持たない人。この時期は危機感ばかりでも余裕ばかり持つていても、良い結果には結び付きにくいのです。程よい危機感と程よい心の余裕を持って、リラックスして最大の努力を積んでほしいと思います。最後まで頑張りましょう！

(小倉先生)

ノーベル平和賞

先日、ノーベル平和賞に日本被団協が受賞という、大きな、素晴らしいニュースが報道されました。日本での平和賞受賞は非核三原則を唱えた佐藤栄作元首相以来50年ぶりの快挙です。本当におめでたうございます。

世界で唯一の被爆国として、その体験者として、核兵器の根絶を長年にわたって世界各国に訴え続けた功績が称えられた今回の受賞、今一度核兵器について考える機会を与えてもらった気がします。

核兵器をもっていれば使用されることの抑止力になる、使われないのに保有しておかなくて核兵器の脅威にさらされてしまふ、なんだか変な話ですね。各国の情勢や利害関係も複雑に絡むので、簡単ではないですが、すべての国が完全に、しかも同時に、核兵器を廃棄しないと、この世からは根絶できない気がします。現実的には本当に難しいのですが…

科学技術やAIなどが急速に発展している現代、世界中が平和で、共に尊重しあう未来にながらうような何か新しい解決法が出現してくればと、願うばかりです。



(竹田先生)

